

令和6年8月19日

会員各位

(一社) 神戸市機械金属工業会
技術交流部会長 太田 稔宏

実践生産性改善（ものづくり実践塾）

～自ら考え行動する「自立型」人財を育成するプログラムです～

【コース概要】

組織内の限りある経営資源（ヒト・モノ・カネ）の生かし方を、座学ではなく体験学習を通じて学びます。体験により、単に「わかる」ではなく「できる」ことで、生産性向上のために、自社での「具体的な展開方法」「利益を創り出す方法」を習得します。

【カリキュラム】

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 需要の3要素QDC | 2. QDCと3ム（ムラ・ムリ・ムダ）の関係 |
| 3. レゴで学ぶ効率の重要性 | 4. 折鶴で学ぶ品質の重要性 |
| 5. 誰でも分かる儲けの仕組み | 6. 現場カイゼン16の原則 |

実施日程	令和6年10月23日（水）、24日（木） 9:30～16:30
定員	30名
対象者	生産現場の運営・管理・改善業務に従事する技能・技術者等
実施場所	神戸市産業振興センター
受講料	10,000円/人（講師との懇親会料込み）
講師	キャリアコンサルタント 森 哲也 先生
お問合せ	神戸市機械金属工業会事務局 担当：北芝 寺尾 TEL:078-360-3260
お申込み (右記のいずれか の方法で)	1. Forms に必要事項の入力の上お申込下さい。 2. 3枚目の申込書に記入の上お申込下さい。

【講師からの一言】

この研修では、レゴブロックや折り紙を使用し、実際にモノづくりを体感しながら、
「生産性」・「効率」について、新しい意識を再構築します。
基本コンセプトは、単に「わかる研修」ではなく「できるようになる研修」です。

受講者の声

- ・ 実戦形式の研修を始めて受けました。非常にわかりやすく、身に付きました。
- ・ 今までにない実践的なやり方で、具体的に分かりやすかったです。
- ・ 実際の現場で起きている事についての講義であったので非常に良かった。
- ・ 利益を最重要視して、そのための改善をしていくことが大切だと感じた。
- ・ 具体的な数値化方法と自身の効率UPにつながるヒントをもらい自社の取り組みを決定できた。
- ・ 問題解決の優先順位に間違いがあったと認識できた。会社の改善に役立てそうと感じました。
- ・ 基本理念（コスト等）の再確認ができた。他年代とのミーティングが新鮮でした。
- ・ 社内生産性向上の為のキッカケ作り、問題点をどのようにして解決できるのかを学べた。
- ・ 7つのムダを現場に落とし込むことで何がムダかが分かると思います。
- ・ 今回学んだことの一步、二歩手前までは出来ていたが、まだその先があったことに気付けた。
- ・ グループディスカッションの際、社長様や普段直接関わらない方と作業したり話が出来た。
- ・ もう一回この研修を受けたいです。

申込

下記の Forms に必要事項を入力、又は 3 枚目の申込書を FAX・メールにてお
申込下さい。

Forms <https://forms.office.com/r/XB1mpFAgy5>



応募締切：令和6年9月25日（水）※先着順

『実践生産性改善（ものづくり実践塾）』セミナー申込書

令和6年 月 日

No.	ふりがな 受講者氏名	年齢
1		
2		

会社名			
所在地	〒 -		
担当者	所属部署		TEL
			FAX
メールアドレスをご記入ください（申込確認メール送信用）			@

申込書は FAX 078-360-1457 又は メール kitashiba@kobekk.or.jp（事務局北芝）までお送りください。ご提供いただいた個人情報は本セミナーの受講の目的のみに使用します。

応募締切：令和6年9月25日（水）※先着順